

2007年1月24日
株式会社ブロードバンドセキュリティ

BBSec、ims.jpにAnti-Abuse Mail Service ASPを導入 ～増え続けるスパムメールへの対処とOP25B^{*1}へ対応を実現～

株式会社ブロードバンドセキュリティ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：持塚 朗、以下「BBSec」）は株式会社アイエムエス・ドット・ジェーピー（本社：東京都港区、代表取締役 高木 大輔、以下「ims.jp」）のメールシステムに、高度なセキュリティ機能を搭載したセキュアメール ASP サービス「Anti-Abuse Mail Service ASP（アンチ・アビュース・メール・サービス・エーエスピー）」を導入しました。

Anti-Abuse Mail Service 導入の目的と効果

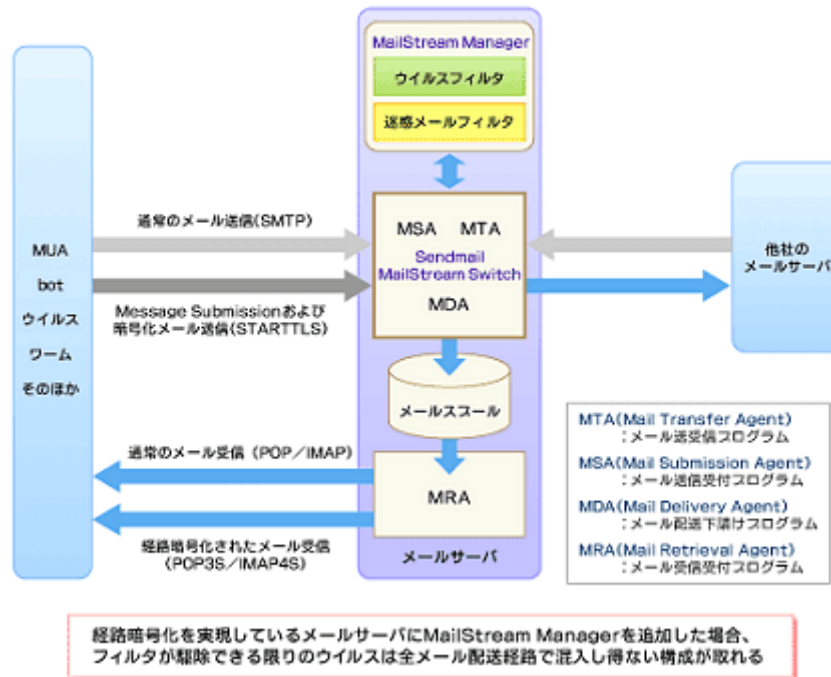
ims.jp はスパム対策によるユーザ満足度の向上と、自社ネットワークがスパムの発信元/中継元とならないための対策(OP25B)のため、万全なセキュリティ対応がなされ、導入/運用コストが低い Anti-Abuse Mail Service ASP を導入しました。Anti-Abuse Mail Service ASP 導入により、当初の目的であるスパム対策による提供サービスの品質向上、さらにメールシステムの運用効率の向上のアップ、運用コストの大幅な削減を達成されています。特にメールサーバー移行に関する十分なサポートにより、ノンストップでのサービス移行を実現しました。

Anti-Abuse Mail Service について

BBSec は、「セキュアメールソリューション」として様々なタイプのお客様にお使いいただけるよう3つのソリューションを提供しております。メールシステムの完全なアウトソーシングを実現する「Anti-Abuse Mail Service ASP」、既存のメールシステムを活かしながら、ウィルス / スパムなどのメールの脅威からメールシステムを守る「Sentrion GateKeeper」、Anti-Abuse Mail Service ASP の機能を専用システムで実現し、お客様専用のメールシステムを構築、監視・運用までを一括して請け負う「Anti-Abuse Mail Service OEM」。その中で今回 ims.jp に導入した「Anti-Abuse Mail Service ASP」は、高い安定性を誇るセンドメールのメッセージングソリューション群、中でも「Sendmail Mailstream manager」(MM)を採用することでアンチウィルス/アンチスパムフィルタを標準装備するとともに、ISP ごとに異なるセキュリティニーズへの柔軟な対応を実現したメール ASP サービスです。最新のスパム対策である「メールサーバーに対するディレクトリハーベスティング（アドレス収集）攻撃対策」、「送信ドメイン認証」、「SMTP Authentication」、「Message Submission」、「TLS (Transport Layer Security)/SSL (Secure Socket Layer)による経路暗号化」など、セキュアなメールサービスに必要な機能を完備しています。サーバやストレージの冗長化とともに、BBSec の運用・監視チームが24時間365日体制で運用監視し、システムの安定稼働を実現しています。既存のシステムからのユーザの移行や登録/削除についても柔軟な対応が可能です。

NEWS RELEASE

サービス概念図 (Anti-Abuse Mail Service ASP)



※1 「Outbound Port25 Blocking (OP25B)」ISPがISPの顧客に割り当てるIPアドレスからISPの外部に出て行くSMTP接続(Port25)を禁止する処置。迷惑メールの大半は、セキュリティホールを利用して一般ユーザのPCに感染した“ボット”から送られている。OP25Bを実施することで、ISPの内部に分布するボットから送信される迷惑メールをISP外部に流出することを抑止する効果が期待できる。

【本リリースに関するお問合せ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ
有本 皓 (ありもと ひろし)
TEL : 03-5338-7424
E-mail : press@BBSec.co.jp

【サービスについての問い合わせ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ
営業本部
TEL : 03-5338-7425
E-mail : sales@BBSec.co.jp